

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
		開設以来11年が経過した今、入居者平均年齢89.9歳。平均介護度3.4。認知症状も進行し、ADL能力も徐々に低下しています。従来から目指してきたグループホームの役割と、あけぼのが直面している課題には相違点がある。	「のんびり たのしく 自分らしく」の基本理念にかえり、入居者お1人お1人の基本的生活動作に焦点を絞った①そのケアの実際と内容 ②入居者の満足点を見直すことから、残された力を生活の励みになるよう環境を整える。	「食事・排泄・清潔」の3項目について入居者に対する職員の考え方を問う。意見を職員全員が共有する。(10月)	1ヶ月
				具体的に1人1人のケアに何が必要かを話し合い、ケアプランの見直し・日課の見直しをする。(11・12月)	2ヶ月
				具体的に考えたプランを実施した結果を話し合い、改善点や推進点などの意見を話し合う。(1・2月)	2ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。